

投稿日：令和 2 年 5 月 1 日

愛媛地区 大西完直

石手寺の万灯会

愛媛、松山市の夏の風物詩は何かと考えてみました。夏になったなど感じるのは銀天街や大街道で開催される「松山土曜夜市」ではないでしょうか。6月の初めから8月までの期間開く夜市は、アーケードの付いた商店街で開催されることもあり毎年夕涼み方々多くの人の楽しみとなっています。また夏の盛りを感じるのは、8月の10日ごろ行われる夏祭り「野球拳おどり」で、当日自由に参加もできる催しのため全国各地から来られた大勢の観光客も飛び入りで踊れ人気があります。



でも、私が選ぶ風物詩は、四国八十八ヶ寺の一つ石手寺での万灯会ではないでしょうか。坊っちゃん大賞を取られた敷村良子さんの小説「がんばっていきまっしょい」でも紹介されていますのでご存知の方も多いことでしょう。



お寺ではお施餓鬼万灯会（せがきまんとうえ）と呼び、施餓鬼法要の一環として行っています。施餓鬼とは餓鬼道に落ちたものだけでなく、あらゆるものの靈魂を供養するための法要だそうです。

和尚さんの読経の中、辺りが暗くなるとガラスの器に入れたろうそくの火が輝きを見せてきます。広い境内をいっぱい覆いつくすろうそくの火の幻想的な情景が浮かび上がってきます。今、流行りのLED照明のイルミネーションのような多彩な色で

は無く、淡い単色の光だけにほのぼのとした優しさを感じられます。境内が幾万個のろうそくで埋め尽くされた光景は極楽浄土のようですよ。



私は、読経も終り静かになった光景をじっくり見たくていつも少し遅く行っていました。ろうそくが燃え尽きて火が一つ、二つと消えてゆき全部が消えるまた元の日常生活が始まるのだとボーっとして見ているのが好きだったのです。しかし、去年などは昔と違って火の取り扱いに注意するよう消防署より注意があったのか自然に消えるまで待たないで係の人が一斉に消しているではありませんか。ちょっと風情がなくなったようで寂しく思いました。

今年 2020 年は 8 月 20 日がお施餓鬼万灯会の日だそうです。機会があったら一度見に来られてはいかがでしょう。道後温泉に泊まれば歩いて 15 分程度の距離しかありません。また、規模は小さいのですが毎年年末にも平和万灯会として年越しイベントとしてもやっています。除夜の鐘を突く人の行列や初もうでの一番乗りを狙っている人で結構混みあっていますよ。

